

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居者が大正時代から昭和10年代生まれの方に移行したジェネレーションの変化と、認知症の多様化に、視野を広く・感受性を深く持ちながら向き合えるチーム力のアップを図りたい。	行動心理を深く読み取り、その方の培われた時代背景や認知症別症状など、その方の理解を深め最善のケアを実践できる人材の育成を目指していく。	1育ってきた時代考証や家族像・気質など、施設内研修や全体会議などで細部にわたるテーマを決め考察していく。	1年
2				2認知症の方のあるべき姿について、認知症別症状を基本(参考)としながらも「個」の大切さを関わりの中で学んでいく。	〃
3	33	終末期・看取りケアの実践において、最期の眠りにつくまで、苦しみがなく平穏に命を尊ぶことへの意識の向上を目指したい。	人間の最期の瞬間に寄り添える尊い職業を感じながら、介護者はより深く自分を磨いていく役割と自覚を持っていく。	1施設内研修で、様々な事例を基に、死生観を考察する機会を設ける。 2終末期ケアを通してケアの振り返りを行い、更に「命の重さ」「慈しみ」を感じながら援助できる人材を育成していく。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。